

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2392500316		
法人名	(株)イズミ		
事業所名	グループホーム笑顔の泉(Aユニット)		
所在地	愛知県春日井市下条町2丁目1-9		
自己評価作成日	平成30年10月27日	評価結果市町村受理日	平成31年2月1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kazokensaku.nhw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2017_022_kami=true&amp;JigyosyoCd=2392500316-00&amp;PrefCd=23&amp;VersionCd=022">http://www.kazokensaku.nhw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2017_022_kami=true&amp;JigyosyoCd=2392500316-00&amp;PrefCd=23&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構 愛知評価調査室		
所在地	愛知県名古屋市長瀬区本願寺町2丁目74番地		
訪問調査日	平成30年11月7日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

<p>外出レク…月に一回みんなで外出をしています。                  行事…季節ごとの施設内行事を提供しています。                  散歩…出来るだけ毎日散歩に行きます。                  食事…毎日三食手作りで提供しています。                  入浴…二日に一回の入浴提供をしています。                  職員…人員を多めに配置することで手厚いケアを提供しています。</p>
--

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

<p>昨年11月に就任した新管理者は前任者の意思を継ぎ、『毎日散歩と月1回のお出かけ』『手作りの食事提供』を遵守しています。一方で新たな事にも果敢にチャレンジしています。『若返り計画笑顔の泉』と銘打って採用に動んだ結果、平均年齢59歳が現在は47歳という躍進ぶりです。また次に力を注ぐのが『現場とプランの距離を縮める』ことで、サービス担当者会議には家族も加わるよう面会に合せての実施を浸透させています。『ケアプランに基づく生活チェック一覧表』は、長文を簡略化させ、現実的な落としどころを探ったことが一目でわかるもので、達成できなかった日が連続と介護支援専門員が確認に入るといいう仕組みも確かです。</p>
--

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2. 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3. 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3. たまにある <input type="radio"/> 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度 <input type="radio"/> 3. たまに <input type="radio"/> 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている <input type="radio"/> 2. 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3. あまり増えていない <input type="radio"/> 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2. 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2. 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所に3か所掲示しており、新人職員にも事業所理念を伝達しています。 理念に基づいた教育を行っています。	「生きがいとやりがい、を利用者に感じてもらうためにはどうしますか？」と会議で職員に尋ねたり、新人採用時にも丁寧に説明することに努め、浸透を図っています。家族アンケートにも「笑顔で出迎えてもらえる」と挙がっていて、『明るく楽しく笑って～』の実践が確かです。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	開設から5年以上が経ち地域での認知度は増してきていると思う。事業所周りでの作業やイベント、散歩などでは挨拶を交わしています。	区費を納めており、区長は運営推進会議にも出席くださっていますが、道風(小野道風)プロジェクト等地元行事には未だ利用者同伴で出かけてはいません。最近建物の周囲を1日かかり、職員総動員での掃除に取組み、ご近所と改めて言葉を交わす機会に結ばれています。	地域との関わりを上げたいとの希望もあるため、防災訓練においてお役立ち的な提案(例.車椅子操作教室等)をおこなっていく事を期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	入居相談は増加傾向にあります。 将来的にどのような施設が向いているのか地域の方が飛び込みで相談に来られることもあります。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月ごとに開催することで、ご家族様や地域の方、包括の担当者さんから助言や意見を頂戴することが出来ています。	家族、地域、行政に報告できる貴重な場として「不透明にならないように」と心掛けて事故報告もおこない、隔月開催が叶っています。特に感染症対策については、面会制限やコンタクトポイントについて出席者から具体的な助言、指導を受けています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事故発生時の対応や予防対策を指導いただきました。	春日井市の居宅連絡会には年会費を納め、無料研修の案内等を電子メールで得ています。また運営推進会議に出席の地域包括支援センター職員には人心掌握について等アドバイスや知識享受を受け、事業所運営に反映させています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	市町村の指導もあり、玄関の施錠のみ行っています。 その他の身体拘束は行っておらず、2か月に一回身体拘束についての研修を行っています。 また、身体拘束適正化委員会も開催しております。	身体拘束等適正化のための指針及び身体拘束廃止フローチャート、緊急やむを得ない場合に関わる書面を備え、チェックリストも職員一人ひとりが取組んでいます。改正に伴う身体拘束等適正化委員会の集まりも既に3回おこなっています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月の会議で虐待に繋がりがかねない行為をピックアップし(個人名は出さず)具体例を出し勉強会としています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護についての知識が十分ではありません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居の際に懇切丁寧に説明しております。また、常日頃から不明な点は聞いていただけるような態度を心がけております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口を設け、対応しております。	家族面会の機会を拾って、サービス担当者会議を開催するよう工夫していることが功奏しており、家族アンケートでも事業所の頑張りを認めてくださる意見が挙がっています。「運動させてほしい」と聞けば、訓練だけでなく買い物や外出の回数を増やして、速やかに応えています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	常日頃から個別の面談を行っております。職員の本音が聞き出せるような対応を心掛けております。	毎月1回のミーティングは毎回管理者が「1時間で終わりますよ」と言っても2時間強となってしまう程、意見満載です。個人面談とはうたっていないですが、管理者が声をかけて随時話を聴くよう配慮していて、職員からも利用者への対応をはじめ頻りに報連相があります。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	極力そのように努めておりますが、不平不満はわずかながら聞こえてきます。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	日々の業務の合間を縫って可能な限り参加するようにしています。またミーティングにてフィードバックを行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホームにお邪魔し、話を聞かせてもらったり、現場を見学させてもらったりして勉強させていただいています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前のアセスメントは、施設ケアマネやフロアリーダーと共に複数で行うようにし、本人様の要望をヒアリング出来るように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	上記と同様に、ご家族様の意向も複数の職員で聞くことで、もれなく受けるようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	導入時は、ご本人様の不安も多く、ご家族様の期待を損ねることの無いよう、様々なリスクについてもお伝えし、グループホームが万能では無いことも含め、お伝えしております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	12名のご利用者様が入居されて3年以上が経過しており、信頼関係が構築されていると感じます。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の不安や負担を軽減できるよう、可能な限りご要望を叶えられるよう努めております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や知人に限らず、面会に制限は設けておりません。ご家族以外の方との外出に関してはご家族のご要望に従っております。馴染みの美容院にお連れしている方もいます。	日用品の買い物やATMでの引きだしも続ける他、洋裁、編み物、園芸、読書(在宅の頃から文芸春秋が愛読書)、絵画といった趣味が大変豊富です。珈琲文化を継承して、10時には全員に提供(数名紅茶)を続けており、「私の好みはもつと濃いやつ」と意見が飛び出す場面もあります。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の相性を席の配置に反映し、共に助け合えるような環境づくりに努めています。常日頃から利用者様同士の関係が良好となるようお声がけを行っております。		

## 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	こちらから関係を断ち切ろうとはしてません。退去されたご家族様の相談を受けることがあります。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	サービス担当者会議でご本人様の意向の聞き取りを行っています。また、日常の関わりからもご本人様の意向の把握に努めております。認知症等により困難な場合にはご家族様にもお話を伺い、本人本位の視点に立てよう努めています。	誕生日会プログラムはバースデーソングやプレゼント贈呈などで構成され、代表として他利用者がプレゼントを手渡すといった演出には思いやりが伝わります。またハンドマッサージのボランティアが毎月来訪していて、その晩はぐっすり眠ることができ、職員も助けられています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント時に今までの暮らしぶりの聞き取りを行っています。また、日常会話の中でも差し障りない範囲で聞き取りを行っております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケアプランに基づく生活チェック表を使用し、心身状態の経過を追っています。スタッフも家事を行う場面等で「一緒にやってみましょう」と声掛けし、有する力の把握・向上に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議を開催し、ご本人様・ご家族様・ケアマネージャー、施設管理者の話し合いに基づき計画書を作成しています。また、往診医と管理者の間で健康面の課題の把握に努め、必要に応じてご家族様に報告・相談を行っています。毎月月末にご本人様からの聞き取りによるモニタリングを実施しています。	サービス担当者会議には家族が加われるよう面会に合せています。『ケアプランに基づく生活チェック一覧表』は、長文を簡略化させ、現実的な落としどころを探ったことが一目でわかるもので、バツが続くと介護支援専門員が職員に聞き取りに入るという仕組みが確かです。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに基づく生活チェック表を導入し、ケアプランに基づいた介護が行えているかを日々チェックしています。行えなかった場合には理由を記載しています。結果はモニタリングに反映し、介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人様や家族様のご意見を尊重したプランの作成、現場への落とし込みを行っており、それらが実行出来ているかミーティングで話し合っています。必要に応じた個別支援にも取り組んでいます。		

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	買い物に付き合ってください、訪問マッサージや訪問歯科診療の受け入れ、ご家族様に積極的に協力いただくなどに注力しております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医と家族様との連絡を密に取り、適切な医療が受けられるように努めています。	24時間対応の在宅クリニックが協力医として、月2回の訪問診療がおこなわれ、従来のかかりつけ医から事業所の医師に変更した人は16名います。情報提供書を事前に提出しており、管理者が診療記録は赤、薬剤師の内容は青と分け、同じ書面に記載しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師はおりません。 ケアで感じた気づきを、かかりつけ医に相談・報告が出来る環境になっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	情報提供をしっかりと行なっています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期のケアについては、入所時にお伝えしております。また、段階が進んだ状態となった場合、一歩踏み込んでご家族のご意向を聞かせていただいております。	『看取りについての事前確認書』を通じて家族の意向を確認する、という取組みを最近始めていますが、これまでも契約時には口頭で説明しています。事業所内には看取りのベテランが2名いて、その時の職員体制に関わらず取組みが可能な状況にあり、昨年1名を見送っています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的には行っておりません。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を定期的実施するようにしています。運営推進会議において、日程等をお知らせしています。	年2回の法定訓練は1階と2階での想定を替え、また外の日常階段を使って下に降りる、といった実践的な訓練をおこなっています。次回は消防署の立ち合いを求める予定であり、夜間対応が未だ実施できていないため、その時併せておこなうことになっています。	風水害のマニュアルを下条地区に即して見直すことを期待します。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声掛けだけでなく、入浴時やトイレ利用時にもプライバシーの保護に努めています。	22名中18名がパートタイマー職であり、働き方希望を管理者が苦心しており、無理な希望をきいてもらえていることが利用者へのケアサービスの下支えとなっています。干した洗濯物の重なりが気になる利用者には「いつも気にしてくれてありがとうございます」とお礼を伝える姿も視認しました。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	余暇時間の過ごし方は、入居者様の判断に任せている。ただ、選択肢は提供しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	限られた職員配置なので、その中で利用者本位となるようなタイムスケジュールにしています。季節に合った活動を取り入れています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご家族様を巻き込んで対応しています。ご家族様、利用者様双方が希望された場合、個別支援の一環として近所の服屋に同行しております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付け・洗い物は常にお願ひしています。調理については、状況を見つつお手伝いしてもらっております。	開設時に栄養士が作ったメニューを管理者がアレンジし、職員が手作りで家庭的な味わいのあるものに仕上げ提供しています。週3回、月・水・土の早番が利用者(徒歩可能な人)と近くのスーパーマーケットに食材の買い物にでていて、本人の声から献立が変わる日もあります。	調理した人が検食していますが、異なる人がおこなうことも含み、検食簿(記録)導入について検討することを、期待します。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	3食以外に間食される方への対応や、水筒の準備など、個別に対応しています。水分チェックを実施しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアをしていただいております。訪問歯科も1週間に1回 来てもらっているため、口腔内は清潔に保たれていると思われまます。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	極力紙パンツは使用しない方法を模索し、ケアで対応するように努めています。また使用している方に関しては汚染回数や尿量や時間帯を鑑みて、パッドの種類、交換頻度を考えています。	自宅からテープオムツで入居した人がリハパンに向上して車いすから歩行器に替わった例のほか、他施設ではリハパンとパットだったのが布パンとなった人もいます。日中は3時間おきに声をかけていることや、トイレが近くにあること、また此処での安寧がもたらした効用と推量されます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	医師と相談し、無理なく自然排便が出来るように排泄コントロールしています。また、水分チェックを行い、摂取量の少ない方には好みの飲料を飲んでいただくなどの工夫をしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	1日おきに提供しており、体調や行事予定などにより状況を見極めています。タイミングは事業所の都合によるところが大きいです。	湯は毎日張り、利用者は隔日入浴を目安としています。左右の片麻痺に対応できる浴槽では鼻歌がでてきたり、数かぞえが始まったり、また特定の職員が好きで話に花が咲く利用者もいます。菖蒲や柚子の時節風呂もおこなっています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ハード面では、改善できない点が多いですが、巡視の時間を軸として、その方の睡眠を阻害しないように努めております。また、ご自身の意思で眠たい時に寝られる環境になっております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	申し送りノート、服薬一覧表を活用し、全ての職員が、服薬の変更を事前に知ることが出来ています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	みんなで楽しめる歌のレクや外への散歩を主軸に行っております。また、馴染みの美容院や服屋、スーパーへお連れする個別対応を行っています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	雨天と酷暑、特変時以外は、散歩にお連れしています。外出レクの機会をたくさん設けるだけでなく、行きたい場所も聞き出して、反映させています。利用者様の希望を汲み取り	「出たい」兆候が見られると、一緒に出て周囲を歩いて喫茶店に立ち寄りたりと、気分が変わるまで付き添うことが職員行動として定着しています。好天での散歩は日々継続され、1名10分として散歩の時間を90分とり、月1回のお出かけの中には相撲部屋の朝稽古もあります。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には所持してもらっていません。任意の額をお小遣いという形でお預かりし、本人様の欲しいもの、必要なものを購入出来るようになっていきます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族様のご意向に沿っており、電話はほとんどの入居者様が活用されておられません。一部の入居者様が、電話や絵手紙などをやり取りされています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペースはグループホームにとっては特にメインとなる場所なので常に気づかいを行っております。室内の装飾も季節を感じられるようにしております。	アクティビティのクラフト作品づくりの支援が得意な職員や、二胡が趣味という職員が居て、共用空間は何かと華やかです。利用者の中には個展が開けそうな絵画を描く画伯もいて、来客者の感嘆を誘っています。	踊り場にある非常用備蓄は、避難のじゃまにならないか等見直すとともに、このまま置くならば、カバーをかけて見た目への配慮があることを期待します。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食卓の座席を固定しておられません。また、あちらこちらにソファを配置しており、過ごす場所を特定しておられません。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	事業所で用意した物は、極力少なくし、ご本人様の使いなれた物がそのまま使えるような環境です。	小さな三面鏡と乳液の瓶からは女性としての慎みが香り、愛着のある人形を置く居室を視認しました。収集癖のある利用者の棚の上には物がほとんど置かれておらず、本人の特性に合わせた環境づくりに取り組んでいることが覗えます。	普段使わないようなところの埃が残るようです。月に1度程度普段おこなわないところをチェックする日を設ける等、是正を期待します。
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全を最優先した構造になっています。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2392500316		
法人名	(株)イズミ		
事業所名	グループホーム笑顔の泉(Ｂユニット)		
所在地	愛知県春日井市下条町2丁目1-9		
自己評価作成日	平成30年10月27日	評価結果市町村受理日	平成31年2月1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kazokensaku.nhw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_2017_022_kami=true&amp;JigyosyoCd=2392500316-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022">http://www.kazokensaku.nhw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_2017_022_kami=true&amp;JigyosyoCd=2392500316-00&amp;PrefCd=22&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 愛知評価調査室		
所在地	愛知県名古屋瑞穂区本願寺町2丁目74番地		
訪問調査日	平成30年11月7日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>外出レク…月に一回みんなで外出をしています。                  行事…季節ごとの施設内行事を提供しています。                  散歩…出来るだけ毎日散歩に行きます。                  食事…毎日三食手作りで提供しています。                  入浴…二日に一回の入浴提供をしています。                  職員…人員を多めに配置することで手厚いケアを提供しています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>昨年11月に就任した新管理者は前任者の意思を継ぎ、『毎日散歩と月1回のお出かけ』『手作りの食事提供』を遵守しています。一方で新たな事にも果敢にチャレンジしています。『若返り計画笑顔の泉』と銘打って採用に動んだ結果、平均年齢59歳が現在は47歳という躍進ぶりです。また次に力を注ぐのが『現場とプランの距離を縮める』ことで、サービス担当者会議には家族も加わられるよう面会に合せての実施を浸透させています。『ケアプランに基づく生活チェッカー一覧表』は、長文を簡略化させ、現実的な落としどころを探ったことが一目でわかるもので、達成できなかった日が連続と介護支援専門員が確認に入るといいう仕組みも確かです。</p>
---

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

## 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所に3か所掲示しており、新人職員にも事業所理念を伝達しています。 理念に基づいた教育を行っています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	開設から5年以上が経ち地域での認知度は増してきていると思う。事業所周りでの作業やイベント、散歩などでは挨拶を交わしています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	入居相談は増加傾向にあります。 将来的にどのような施設が向いているのか地域の方が飛び込みで相談に来られることもあります。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月ごとに開催することで、ご家族様や地域の方、包括の担当者さんから助言や意見を頂戴することが出来ています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事故発生時の対応や予防対策を指導いただきました。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	市町村の指導もあり、玄関の施錠のみ行っています。 その他の身体拘束は行っておらず、2か月に一回身体拘束についての研修を行っています。 また、身体拘束適正化委員会も開催しております		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月の会議で虐待に繋がりがかねない行為をピックアップし(個人名は出さず)具体例を出し勉強会としています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護についての知識が十分ではありません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居の際に懇切丁寧に説明しております。また、常日頃から不明な点は聞いていただけるような態度を心がけております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口を設け、対応しております。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	常日頃から個別の面談を行っております。職員の本音が聞き出せるような対応を心掛けております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	極力そのように努めておりますが、不平不満はわずかながら聞こえてきます。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	日々の業務の合間を縫って可能な限り参加するようにしています。またミーティングにてフィードバックを行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホームにお邪魔し、話を聞かせてもらったり、現場を見学させてもらったりして勉強させていただいています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前のアセスメントは、施設ケアマネやフロアリーダーと共に複数で行うようにし、本人様の要望をヒアリング出来るように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	上記と同様に、ご家族様の意向も複数の職員で聞くことで、もれなく受けるようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	導入時は、ご本人様の不安も多く、ご家族様の期待を損ねることの無いよう、様々なリスクについてもお伝えし、グループホームが万能では無いことも含め、お伝えしております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	12名のご利用者様が入居されて3年以上が経過しており、信頼関係が構築されていると感じます。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の不安や負担を軽減できるよう、可能な限りご要望を叶えられるよう努めております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や知人に限らず、面会に制限は設けておりません。ご家族以外の方との外出に関してはご家族のご要望に従っております。馴染みの美容院にお連れしている方もいます。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の相性を席の配置に反映し、共に助け合えるような環境づくりに努めています。常日頃から利用者様同士の関係が良好となるようお声がけを行っております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	こちらから関係を断ち切ろうとはしてません。退去されたご家族様の相談を受けることがあります。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	サービス担当者会議でご本人様の意向の聞き取りを行っています。また、日常の関わりからもご本人様の意向の把握に努めております。認知症等により困難な場合にはご家族様にもお話を伺い、本人本位の視点に立てよう努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント時に今までの暮らしぶりの聞き取りを行っています。また、日常会話の中でも差し障りない範囲で聞き取りを行っております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケアプランに基づく生活チェック表を使用し、心身状態の経過を追っています。スタッフも家事を行う場面等で「一緒にやってみましょう」と声掛けし、有する力の把握・向上に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議を開催し、ご本人様・ご家族様・ケアマネージャー、施設管理者の話し合いに基づき計画書を作成しています。また、往診医と管理者の間で健康面の課題の把握に努め、必要に応じてご家族様に報告・相談を行っています。毎月月末にご本人様からの聞き取りによるモニタリングを実施しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに基づく生活チェック表を導入し、ケアプランに基づいた介護が行えているかを日々チェックしています。行えなかった場合には理由を記載しています。結果はモニタリングに反映し、介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人様や家族様のご意見を尊重したプランの作成、現場への落とし込みを行っており、それらが実行出来ているかミーティングで話し合っています。必要に応じた個別支援にも取り組んでいます。		

### 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	買い物に付き合っていたり、訪問マッサージや訪問歯科診療の受け入れ、ご家族様に積極的に協力いただくなどに注力しております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医と家族様との連絡を密に取り、適切な医療が受けられるように努めています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師はおりません。 ケアで感じた気づきを、かかりつけ医に相談・報告が出来る環境になっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	情報提供をしっかりと行なっています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期のケアについては、入所時にお伝えしております。また、段階が進んだ状態となった場合、一歩踏み込んでご家族のご意向を聞かせていただいております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的には行っておりません。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を定期的実施するようにしています。運営推進会議において、日程等をお知らせしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声掛けだけでなく、入浴時やトイレ利用時にもプライバシーの保護に努めています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	余暇時間の過ごし方は、入居者様の判断に任せている。ただ、選択肢は提供しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	限られた職員配置なので、その中で利用者本位となるようなタイムスケジュールにしている。季節に合った活動を取り入れています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご家族様を巻き込んで対応しています。ご家族様、利用者様双方が希望された場合、個別支援の一環として近所の服屋に同行しております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付け・洗い物は常にお願ひしています。調理については、状況を見つつお手伝いしてもらっております。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	3食以外に間食される方への対応や、水筒の準備など、個別に対応しています。水分チェックを実施しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアをしていただいております。訪問歯科も1週間に1回来てもらっているため、口腔内は清潔に保たれていると思われまます。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	極力紙パンツは使用しない方法を模索し、ケアで対応するように努めています。また使用している方に関しては汚染回数や尿量や時間帯を鑑みて、パッドの種類、交換頻度を考えています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	医師と相談し、無理なく自然排便が出来るように排泄コントロールしています。また、水分チェックを行い、摂取量の少ない方には好みの飲料を飲んでいただくなどの工夫をしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	1日おきに提供しており、体調や行事予定などにより状況を見極めています。タイミングは事業所の都合によるところが大きいです。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ハード面では、改善できない点が多いですが、巡視の時間を軸として、その方の睡眠を阻害しないように努めております。また、ご自身の意思で眠たい時に寝られる環境になっております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	申し送りノート、服薬一覧表を活用し、全ての職員が、服薬の変更を事前に知ることが出来ています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	みんなで楽しめる歌のレクや外への散歩を主軸に行っております。また、馴染みの美容院や服屋、スーパーへお連れする個別対応を行っています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	雨天と酷暑、特変時以外は、散歩にお連れしています。外出レクの機会をたくさん設けるだけでなく、行きたい場所も聞き出して、反映させています。利用者様の希望を汲み取り		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には所持してもらっていません。任意の額をお小遣いという形でお預かりし、本人様の欲しいもの、必要なものを購入出来るようになっていきます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族様のご意向に沿っており、電話はほとんどの入居者様が活用されていません。一部の入居者様が、電話や絵手紙などをやり取りされています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペースはグループホームにとっては特にメインとなる場所なので常に気づかいを行っております。室内の装飾も季節を感じられるようにしております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食卓の座席を固定していません。また、あちらこちらにソファを配置しており、過ごす場所を特定していません。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	事業所で用意した物は、極力少なくし、ご本人様の使いなれた物がそのまま使えるような環境です。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全を最優先した構造になっています。		